

静音枝シュレッダー

取扱説明書

この度は「静音枝シュレッダー」をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、本機の性能を十分にご理解の上、安全に正しくお使いくださるようお願い致します。

お読み終わった後もこの取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

なお、不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「使用者が死亡事故または重傷を負う可能性が想定される」内容
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負うまたは物的損害が発生する可能性が想定される」内容

電動工具共通の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」をすべてよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警 告

1. 作業場は明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や狭い作業台は、事故の原因となります。
 - ・ 強風の時や夜間や薄暗い場所での使用は危険です。昼間の明るい時間帯で作業してください。
2. ガソリン・シンナー・可燃性のガス・粉塵などの引火性の高いものの近くでは使用しないでください。
 - ・ 火花が引火して火災の原因となります。
3. 使用中は子どもや第三者を近づけないでください。
 - ・ 事故の原因となります。
4. 電源プラグは適正な電流・電圧のコンセント、延長コードでご使用ください。
 - ・ 一般家庭用電源（AC100V）対応機です。出力を確認のうえ適正な電源・延長コードをご使用ください。
5. 本体・スイッチ・プラグ・バッテリーの修理や改造をしないでください。
 - ・ 本製品は該当する安全規格に適合しています。改造されると火災や感電の恐れがあります。
6. 感電に注意してください。
 - ・ 使用中に、身体をアース（接地）されているものに接触させないようにしてください。（例えば、金属製のパイプ、エアコンの室外機、電子レンジ、冷蔵庫の外枠など）
7. ペースメーカーなどをご使用の方は、稼働中の本品に近づけないでください。
 - ・ 電磁波の影響により誤作動を起こす可能性があります。
8. 雨天時の取扱に注意してください。
 - ・ 雨ざらしにしたり、極端に湿気の多い所や高温な場所で保管をしないでください。
 - ・ 濡れた手でコンセントプラグやバッテリーに触らないでください。
 - ・ 小雨、濃霧、雨天時の使用はおやめください。感電の危険があります。
9. 電源コードの扱いに注意してください。
 - ・ 電源プラグやコードは使用前に損傷や破損がないかよく点検をしてください。使用時は無理に引っ張ったり挟み込んだりしないでください。
 - ・ 電源コードは熱・油・角のあるところで使用しないでください。電源プラグやコードが損傷したり、傷んだりしますと、感電、火災の恐れがあります。

警 告

10. 使用環境に見合った延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードの延長コードを使用してください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は十分な太さの出力に見合ったコードを使用してください。
11. 使用しない電動工具の保管は子どもの手の届かない、乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
12. 無理な使用を避けてください。
 - ・ 取扱説明書にある機能を超えた作業はしないでください。能力に見合う速さで効率的に作業をしてください。
 - ・ 小型仕様の電動工具やアタッチメントを大型の電動工具で行なうような負荷のかかる作業に使用しないでください。
 - ・ 著しく疲れている時やアルコール、医薬品等の摂取により正常な判断ができない体調の場合は使用しないでください。
13. 作業に適した服装で行ってください。
 - ・ だぶついた衣服やネクタイ・ネックレス等の回転部に巻き込まれる恐れがあるものは着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
14. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。必要に応じて、ヘルメット、防じんマスク、防音保護具を併用してください。
15. 無理な体勢で作業しないでください。
 - ・ 斜面など足場の不安定な場所、無理な姿勢での作業は思わぬ事故になる恐れがあります。
16. 不意な始動を避けてください。
 - ・ 本体を移動する際はスイッチに手がかからないよう注意してください。
 - ・ 移動、手渡し、メンテナンスの際は電源プラグを抜いてください。
 - ・ 稼働させたまま放置しないでください。
17. 破損・故障・異常がないか確認のうえ、電源を入れてください。
 - ・ 使用前に本体の破損・部品の破損・締め付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか十分に確認してから使用してください。また、本体を誤って転倒、ぶつけた際も同様に確認してからご使用ください。
 - ・ 故障・異常が発覚した際は、大変危険なためただちに使用をやめ、販売元または弊社まで修理依頼をお申し付けください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
18. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・ 点検・調整・清掃する場合は電源を切り、電源プラグを抜いて作業を行ってください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従って確実に取り行ってください。
 - ・ 使用前に、調節に用いたレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。振動によって飛散し、怪我をする恐れがあります。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
19. 取扱説明書で指定された正しい付属品やアタッチメントをご使用ください。
20. 充電器のある電動工具の充電器は、充電以外の用途には使用しないでください。

「静音枝シュレッダー」の安全上のご注意

●ここまでは電動工具共通の注意事項を記載しましたが、さらに「静音枝シュレッダー」
として以下の安全上のご注意を守ってご使用ください。

警 告

1. 炎天下での作業はしないでください。作業される場合は十分に暑さ対策をし、長時間高温下にさらされないよう、休憩をとりながら作業してください。
2. 本製品は防爆構造になっておりません。ガソリン・シンナー・可燃性のガス・粉塵などの引火性の高いものの近くでは使用しないでください。
3. 電源プラグを抜き差しする際には、必ずスイッチをオフにし、動作が止まっていることを確認してから行ってください。また、使用中は、コードを不用意に抜かないよう注意してください。
4. 濡れた手で施行・組み立てしたり、電源プラグの抜き差しをしないでください。
5. 布など燃えやすい素材のカバーを覆ったまま、運転させないでください。熱がこもることによる火災の恐れがあります。
6. 投入口、排出口には手や顔を近づけないでください。
7. 使用中はガラスや石、鉄くずなどが投入口から入らないよう注意してください。
8. むやみに振り回したり、作動させながらの移動や長時間移動はしないでください。機械や付属品に設計されていないような作業をしないでください。
9. 長時間の継続作業は避けてください。疲労による事故・手のしびれ・ハクロウ症などの恐れがあります。目安として30分使用ごとに休憩を取ってください。
10. 枝や葉を噛んで動作が不安定になった際は、直ちにスイッチをオフにしてください。稼働中に投入口を覗き込んだり手を入れたりしないでください。
11. 使用中は枝や葉が投入口から飛び出す恐れがあります。投入口に顔や手を近づけたり、止まった枝を手を入れて取り除いたりしないでください。
12. 詰まりが取れない場合は一旦スイッチをオフにし、電源プラグを抜いてから、本体を開けて引っかかった枝や葉を取り除いてください。
13. ブレーカーリセットボタンを押し込んだまま固定して作動させないでください。故障・事故の原因になります。
14. 使用中、モーターから異音がしたり、異常発熱したりした時は、直ちにスイッチを切って使用を中止し、販売元に点検・修理を依頼してください。

【法令を遵守してご使用ください】

●騒音規制について…騒音・振動規制法については、各自治体ごとに政令で定められた内容が異なります。お住まい管轄の法令をご確認のうえ、近隣の方へのご迷惑とならないよう十分に配慮してご使用ください。

●本体のご使用に際し、本製品に不備がない事由により使用者が第三者に損害を与えた場合は、その責任を負う義務があります。

⚠ 注 意

1. 本製品は剪定直後の生木の粉碎を想定された構造になっております。枯木（硬木）や葉だけの粉碎はしないようにしてください。
2. 雨などで濡れた枝木・枝葉、ツル状の物や竹など繊維質の強い木を投入しないでください。詰まりや故障の原因となります。
3. 大きな木片や広がった枝葉、極端に長い枝などは事前に切り分けてから粉碎してください。投入口が破損する恐れがあります。
4. 大量の枝木を一気に投入口に入れないでください。過負荷によりモーターが故障しやすくなります。
5. 本体の連続使用時間は、1時間の作業時間のうちモーターの実稼働時間が30分以内になるのを目安に、調整しながらご使用ください。
6. 刃部はこまめに手入れをし、よく切れる状態を保ってください。使用後は枝や木片を取り除いた後、よく水分を拭き取ってください。刃部が汚れた状態で作業を行いますと、発熱や発煙、火炎の原因になります。

⚠ 警告 アテンションシールの意味について

●お客様の安全のために、本体に貼られている以下のアテンションシールをご理解いただき、お守りいただくようお願いいたします。



表示に従わないとケガや事故の恐れがあります。



付属の保護ゴーグルと防音保護具（市販の耳栓や防音イヤーマフ等）を着用ください。



手や腕を切断する恐れがあります。動作中は身体を近づけないでください。



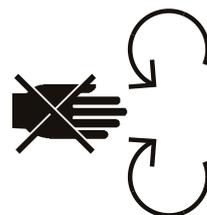
破片が飛び出す恐れがあります。投入口をのぞき込まないでください。



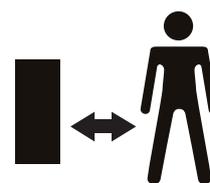
ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。



使用しない時は電源プラグを抜く。破損したコードは使用しない。



手や衣類などを巻き込む危険性があります。絶対に近づけないでください。



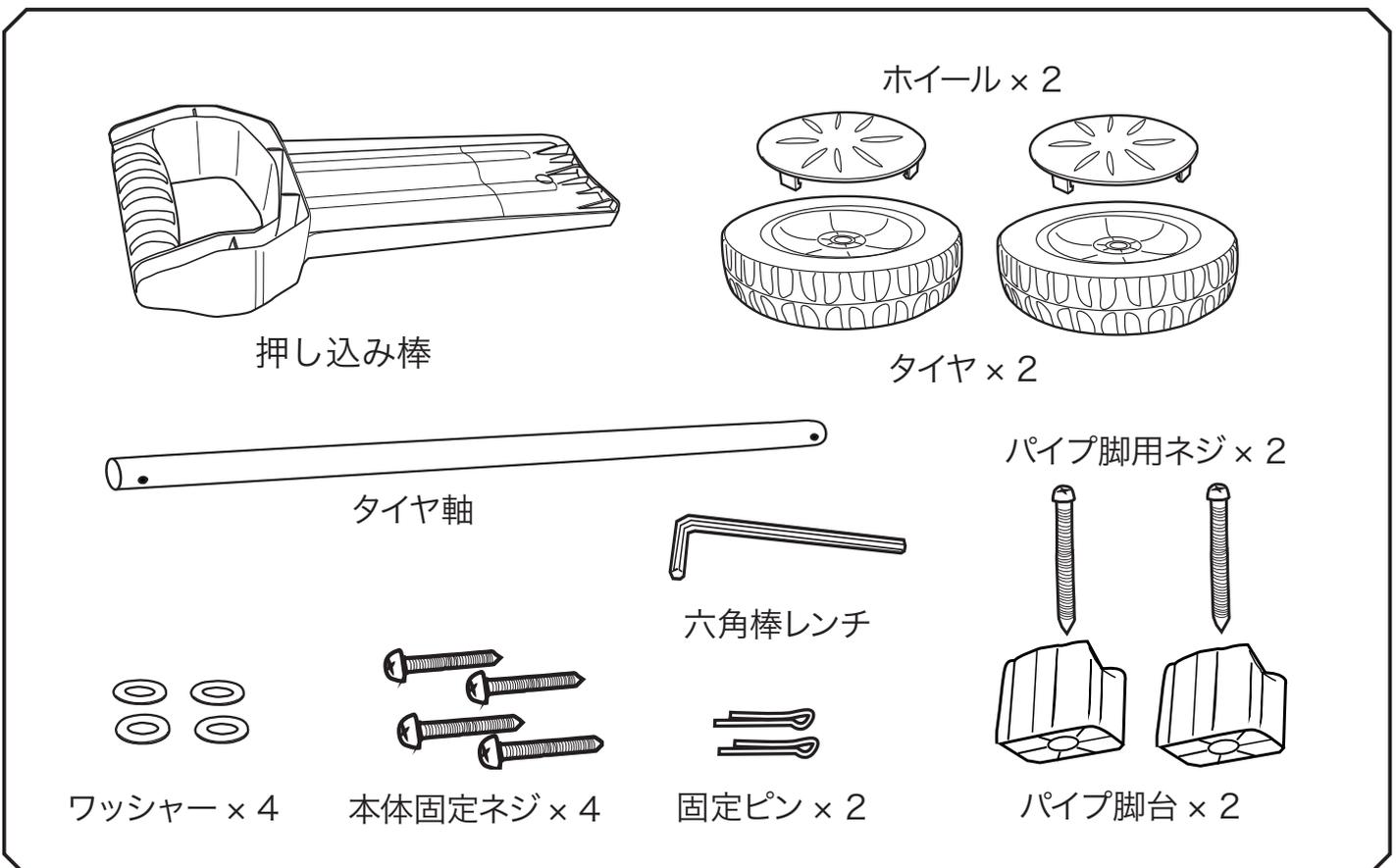
作業中は稼働部から十分な距離をとり、第三者や子どもを近づかせない。

基本仕様

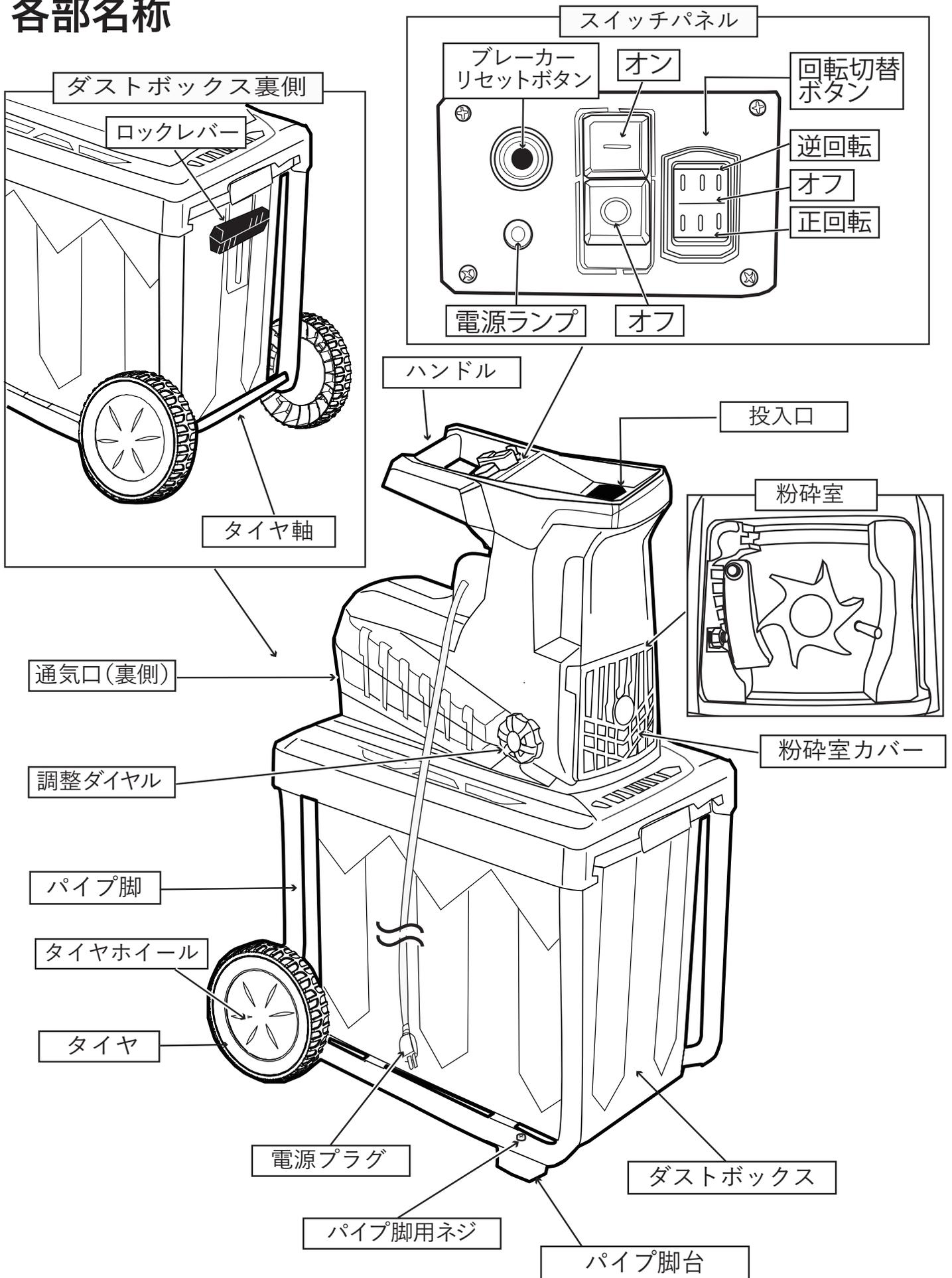
静音枝シュレッダー		ER U35-JP
電圧	100 V	
電流	15A	
定格時間	30 分	
消費電力	1450W	
最大粉砕能力	径 35mm ※	
サイズ (約)	幅 47× 奥行 65× 高さ 93cm (組み立て時)	
重さ (約)	27kg	
材質	炭素鋼、樹脂、スチール、他	

※最大粉砕能力は木の材質によって異なります。
 ※商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので
 あらかじめご了承ください。
 ※付属品は保証書にある問い合わせ先からご購入いただけます。

【組み立てパーツ】お届け時はダストボックスの中に入っています。



各部名称



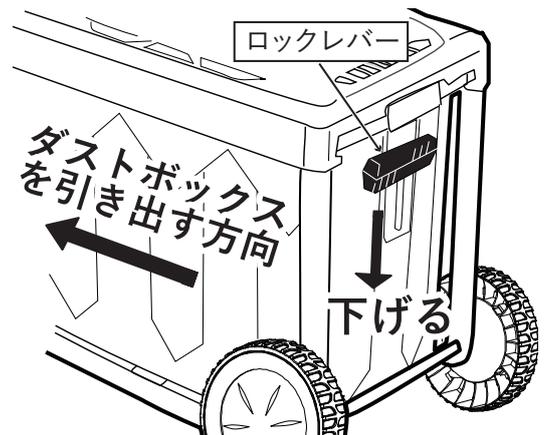
作業の前に

●本体は重量があります。体力に自信のない方は必ず二人以上で解体・組立てを行なってください。床や本体にキズがつく恐れがありますので下に毛布や段ボールなどの緩衝材を敷いて作業をしてください。

警告

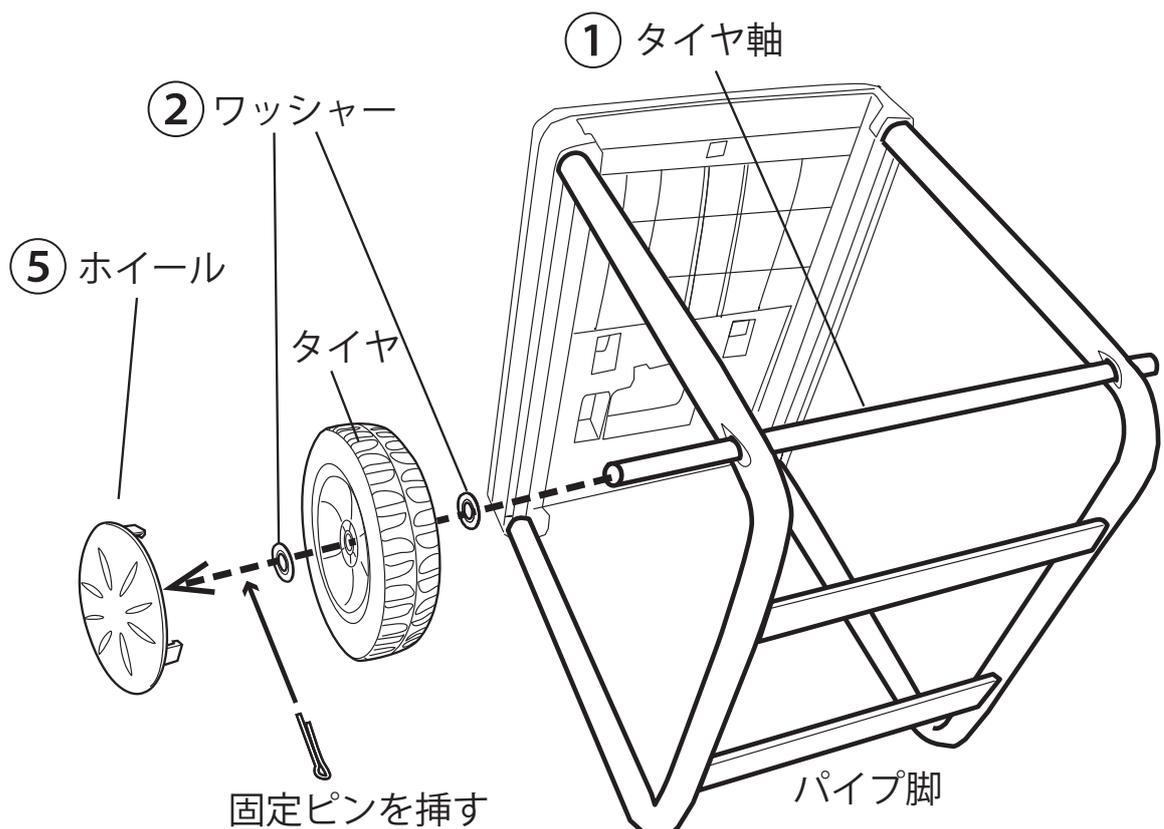
- 組み立てが完全に終了するまでコンセントに接続しないでください。
- 完成するまでは本体の移動、稼働は絶対にしないでください。

お届け時の製品は、パイプ脚にダストボックスが収められた状態です。ダストボックスの中に本体と部品が入っています。はじめにダストボックス裏側のロックレバーを下げてロックを外してから、ダストボックスをゆっくり引き出し、本体と組立てパーツを取り出してください。
※パーツが揃っているか P6 を参照のうえご確認ください。

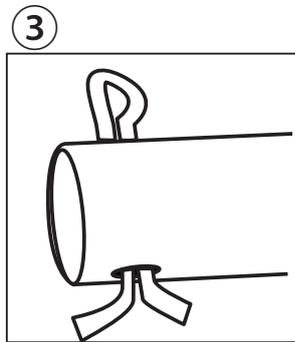


組み立て方:

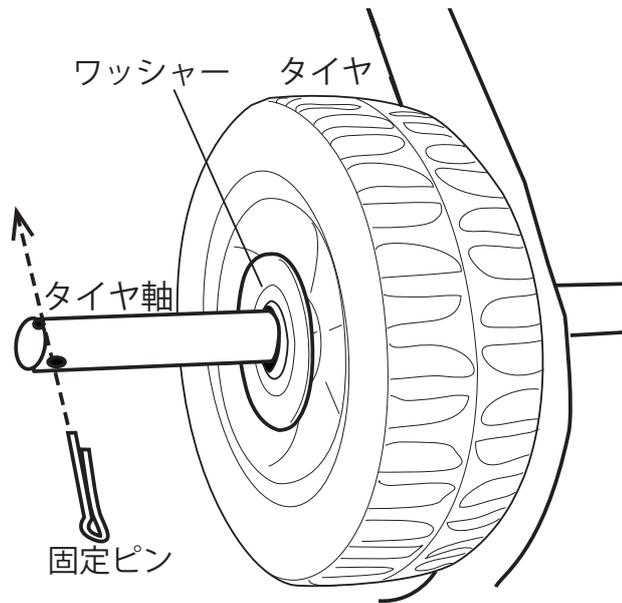
- ①脚を逆さに倒し、パイプ脚の穴にタイヤ軸を挿し込みます。
- ②ワッシャー、タイヤ、ワッシャーの順になるようにタイヤ軸に取り付けます。



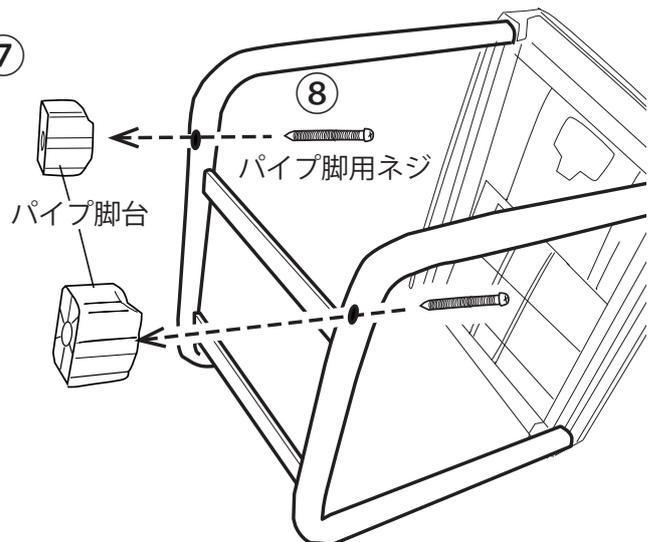
- ③タイヤ軸の先端にある二つの穴を渡すようにピンを差し込みます。
- ④固定ピンの先をペンチなどで広げて固定します。
- ⑤ホイールをはめます。
- ⑥もう一方の側も同様に取付けます。



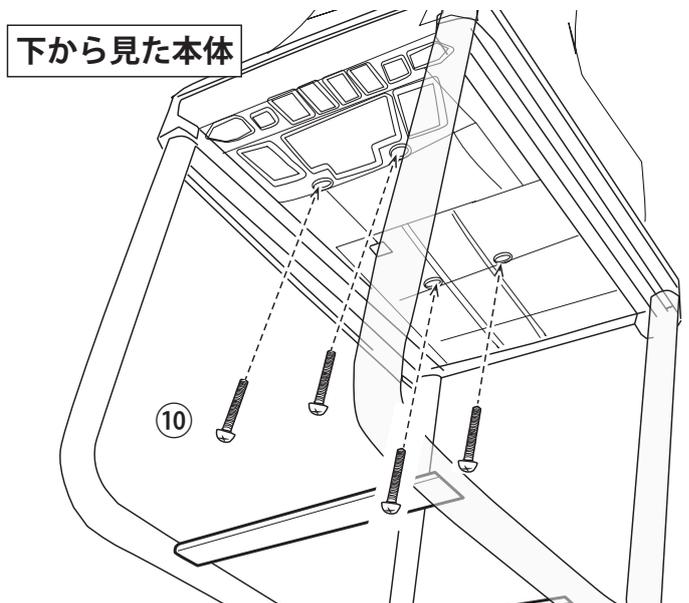
③
ピンの先をペンチ
などで少し曲げる



- ⑦パイプ脚の下側にパイプ脚台を取り付け
ます。
- ⑧パイプ脚用ネジをパイプ脚の穴に通して
台の穴に締めつけて固定します。



- ⑨本体をパイプ脚の上ののせます。
- ⑩下側から本体固定ネジを4箇所止めて
本体とパイプ脚を固定します。
※固定ネジは必ず4箇所確実に取付けて
ください。本体が落下し大変危険です。



- ⑪最後にダストボックスを入れて完成です。
ダストボックスのロックレバーを上げて
本体に固定してください。
※タイヤのある側からは入れられません。
※ロックレバーは本体と固定しないと稼働
できないよう、安全装置と連動しています。

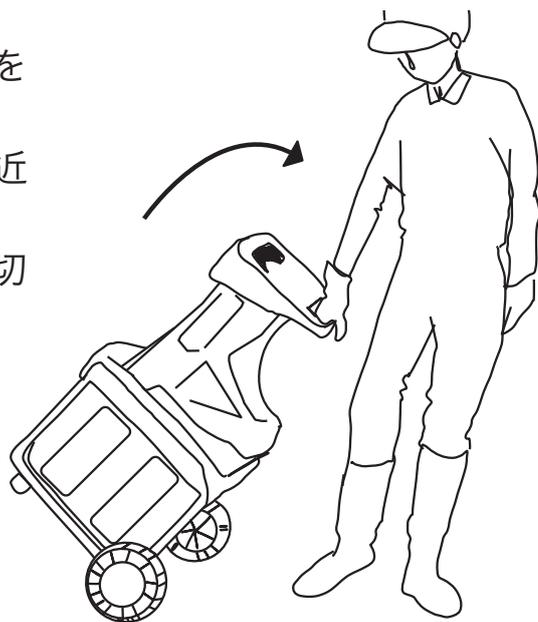
作業方法

作業前の準備：

移動時はハンドルを持って、タイヤ側に本体を傾けるとスムーズに運べます。

本体を安定した場所に設置し、粉碎する枝を近くに置いておきます。

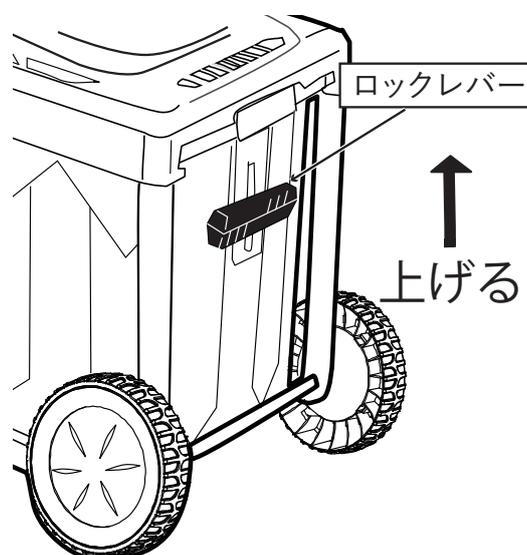
広がっている枝、葉の多い枝は事前に枝葉を切り落としておきます。



作業場に本体を設置し、本体の電源プラグを電源コンセントにつなげます。

ダストボックスのロックレバーが上げられているのを確認し、スイッチをオンに入れます。(スイッチの操作方法はP11を参照してください。)

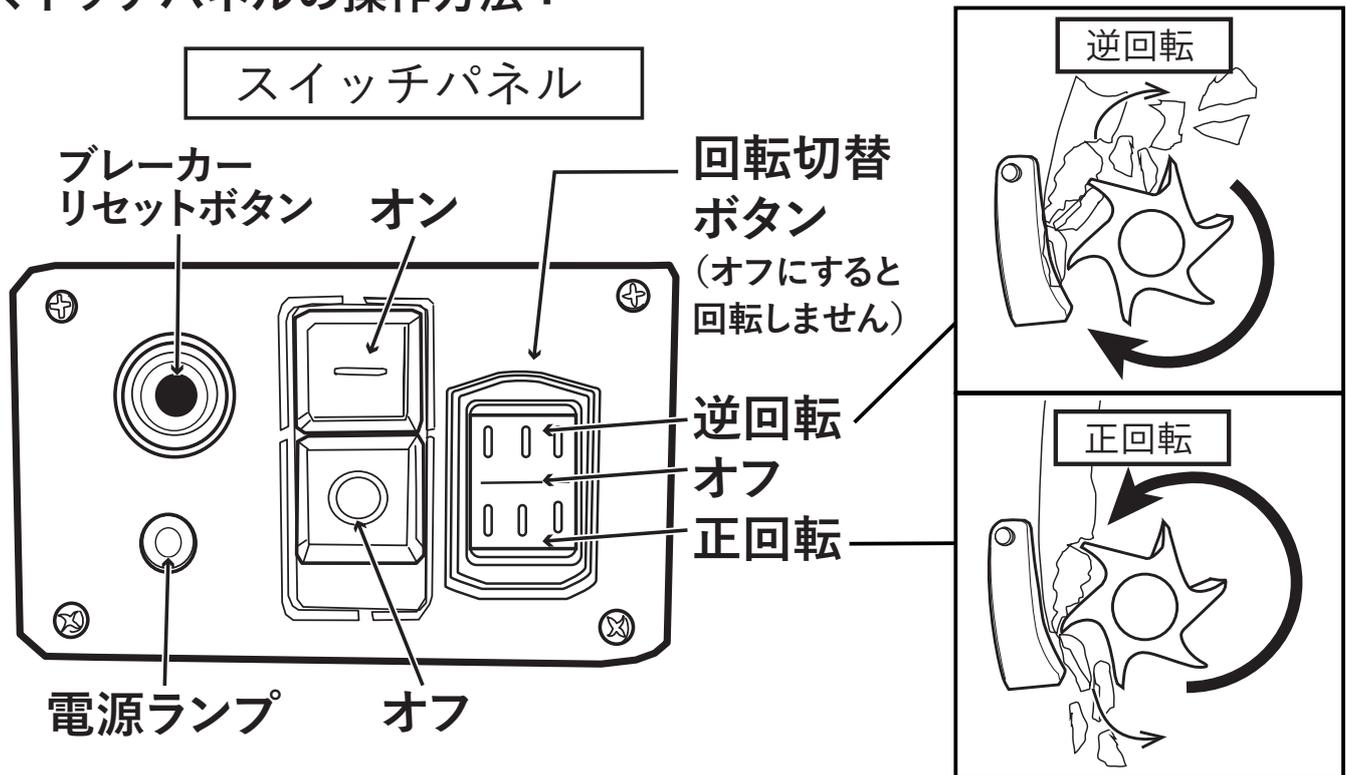
※ダストボックスのロックレバーを上げて本体に固定していないと稼働しない構造になっています。



警告

- 稼働中はプラグを抜かないでください。故障の原因となります。
- 稼働中は絶対に投入口を覗かないでください。枝が飛散することがあり大変危険です。
- 投入口に手を入れたり枝以外のものや石、釘などの硬い素材を投入しないでください。火花が出ることがあり大変危険です。

スイッチパネルの操作方法：



オンボタン(－)を押すと始動します。オフボタン(○)を押すと停止します。オンボタンはオフボタンより常に凹んだ状態が正常で、これは体などが覆いかぶさった際の不意な始動を防ぐための構造です。

オンボタンを下までしっかり押し込むと始動します。始動後は連続稼働し、オフボタンを押すまで動き続けます。

ブレーカーリセットボタンは自動停止状態を解除するために使用します。稼働中、過剰に負荷がかかった場合には安全装置により電源が落ち、自動停止状態になります。自動停止後はP14～の方法にしたがい再稼働させます。

回転切替スイッチは刃の回転方向を切り替えるために使用します。粉碎室に木くずが詰まっている、枝木を噛み込んでいる、などの際に逆回転させて取り除くために使用します。このスイッチは水平にすると「オフ」となり、刃が回転しなくなるためご注意ください。

警告

- 稼働中に回転切替ボタンを押さないでください。
- オンスイッチを入れたまま本体から離れないでください。
- ブレーカーリセットボタンは自動停止後すぐに押さないでください。数分間おいてから、ブレーカーリセット・再稼働させるようにしてください。

回転刃の調整方法：

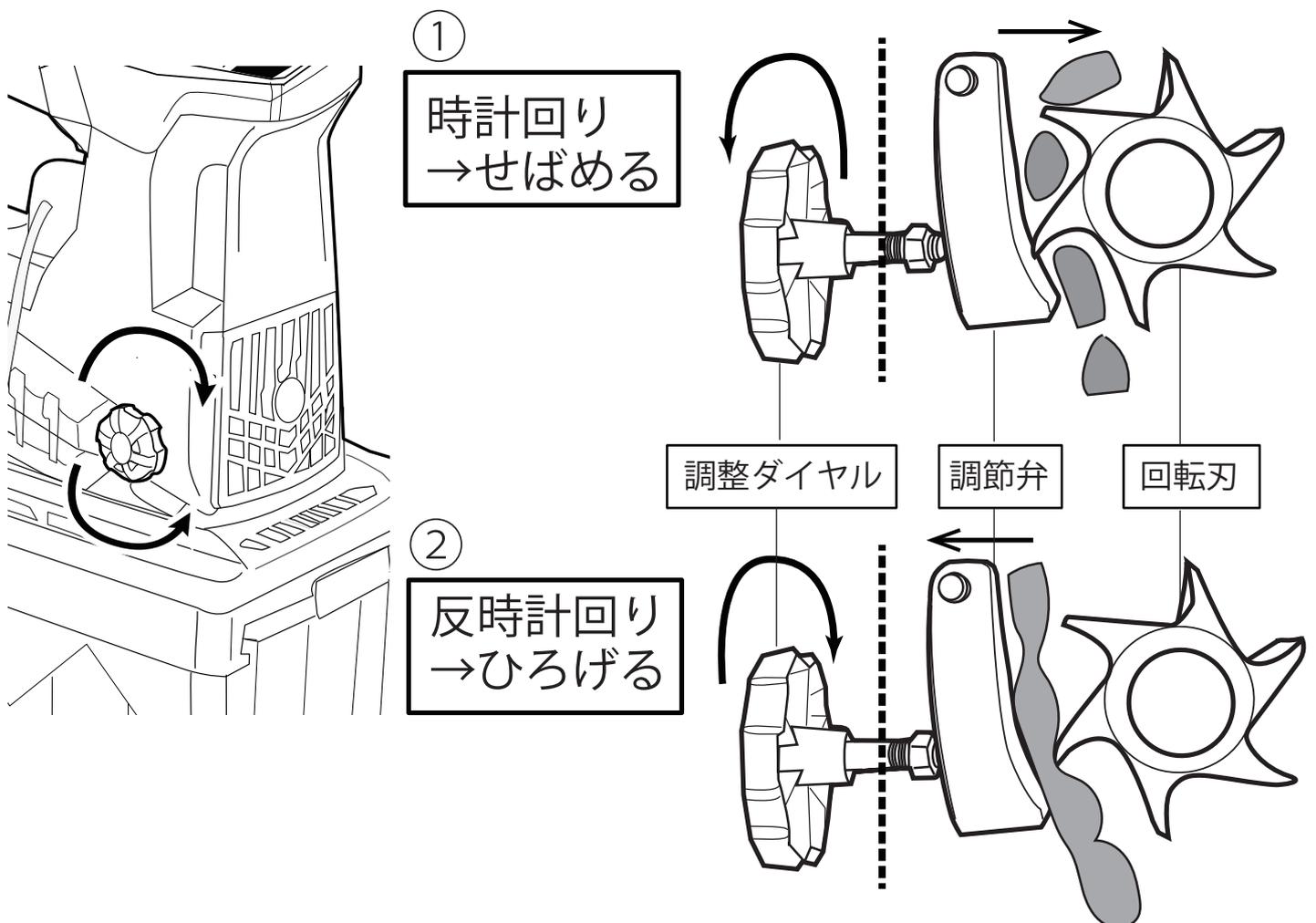
外側にある調整ダイヤルは、内部で回転している刃と調節弁の隙間を調節することができます。

①時計回りにまわすと調節弁が内側にせり出し、刃との隙間が狭くなります。粉碎される木が小さくなります。

②反時計回りにまわすと隙間が広がり、粉碎される木は荒く、繋がった状態になりやすくなります。

粉碎する枝木の細さや太さに合わせて調整して作業をしてください。

また、木くずのつまりをゆるめる時にも使用します。

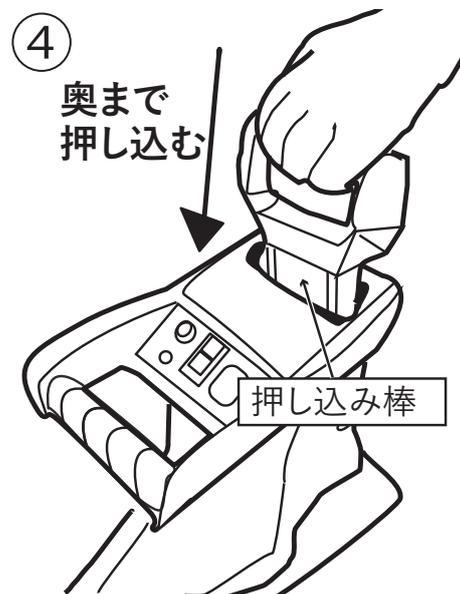


警告

●調節弁と回転刃を近づけすぎると接触が起こり、稼働時に異音が鳴ることがあります。調整ダイヤルは右にまわしすぎないようにご注意ください。

効率よく作業をするために：

- ①太い枝、細い枝、それぞれ太さに合わせて分け、刃の調整ダイヤルを徐々に広げながら細い方から粉碎作業を進めていくとスムーズです。
- ②稼働を確認したのち、投入口の右側から枝を少しずつ入れて粉碎していきます。枝が刃に噛むまでは投入口から手で支えゆっくり押し込み、粉碎が始まったら手を離してください。
- ③短い枝は長い細い枝で囲んでいっしょに投入すると粉碎しやすくなります。
- ④枝が投入口の途中で止まってしまった場合は押し込み棒を使用してください。
- ⑤粉碎能力を超える太さの枝や硬い枝、大量の枝などを無理に押し込むと安全装置が働き自動停止します。何度も自動停止するような場合にはその素材の粉碎作業はおやめください。



⚠ 注意

- 最大粉碎能力は約径 3.5cmですが、剪定直後の生木の粉碎を想定した製品です。材木(硬木)等の粉碎はお控えください。刃を著しく傷める原因となります。
- 竹のような節のある筋の通った木の粉碎には向きません。
- 雨などで濡れた枝木・枝葉を投入しないでください。詰まりや故障の原因となります。
- 粉碎が始まると枝は左右に動きながら粉碎室に引き込まれていきます。広がった枝などで怪我をしないようご注意ください。
- 柔らかい葉だけの粉碎や、茎や草、蔓のような柔らかい細木のみは粉碎できません。無理に詰め込んだりすると故障の原因となります。
- 自動停止が作動した後は直ちに使用をやめ、電源プラグを抜いて「ブレーカーリセット再稼働のやり方」にしたがい復旧作業を行なってください。
- ダストボックスがいっぱいになる前に作業をやめ、粉碎くずを一度取り除いてください。

ブレイカーリセット再稼働のやり方：

本体が自動停止した際は必ず作業を中断し、下記の手順にしたがい復旧作業をおこなってください。

①ダストボックスの中が粉碎くずがいっぱいになっていないか確認してください。いっぱいになっている場合は木くずを取り出してください。

②本体右側にある調整ダイヤルを反時計回りにまわして、刃と調節弁の隙間を広げます。

③ブレイカーリセットボタンを強く押し込んでください。

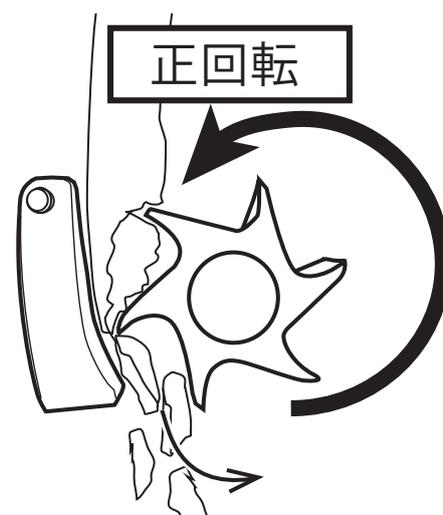
※ブレイカーリセットボタンは押し込んだ後に自動的に凸状態に戻る仕組みになっています。しっかり押し込んだ後はリセット操作が完了していますので、ボタンを押し込んだままオンスイッチを押さないでください。

④回転切替ボタンを逆回転に入れます。

⑤オン(一)ボタンを押し続けます。刃が逆回転して詰まっている木くずの一部が隙間とは逆側に戻されます。

⑥オンボタンから指を離し、今度は回転切替スイッチを正回転に入れます。

⑦再びオンボタンを押し刃を回転させます。止まらないで回転稼働をし続けることができれば、内部のつまりは取り除かれています。



再稼働できないときは？

以上の手順を試しても再稼働できない場合は以下をご確認ください。

・回転切替ボタンがオフになっていませんか？

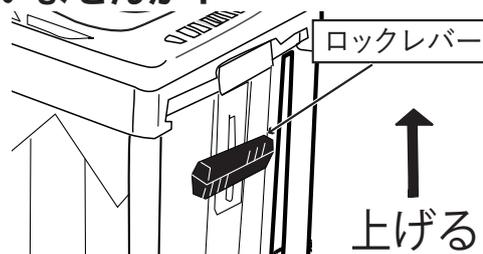
回転切替ボタンが水平になりオフに入っていると稼働できません。ボタンを正回転側に入れてください。

・本体の温度や作業場の気温が高くなっていませんか？

安全装置にサーモスタットが内蔵されているため、高温に晒されると稼働できなくなる場合があります。冷却期間を十分に置いてから再稼働をお試しください。

・ダストボックスのロックレバーが下がっていませんか？

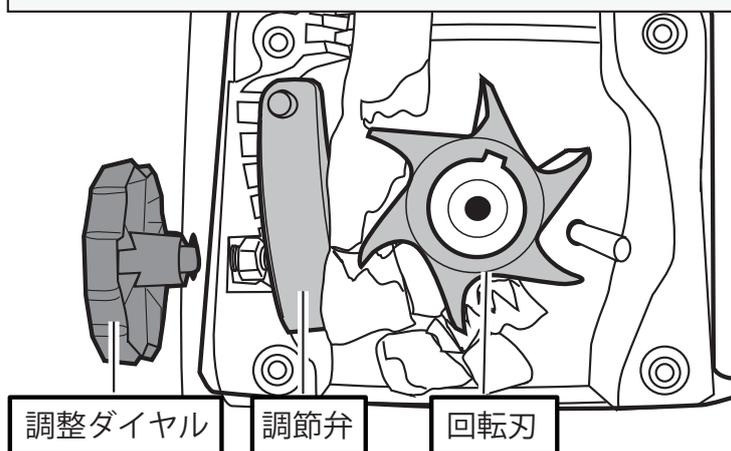
ダストボックスのロックレバーは安全装置と連動しています。ロックレバーを上げ、本体に固定してから稼働させてください。



・太い木を噛み込んでいませんか？

太い枝や大量の枝木を投入すると回転刃が繊維を噛み込んで詰まってしまい、逆回転させてもすぐに自動停止してしまい稼働できない場合があります。その場合は次ページ以降の「粉碎室の掃除」を参照のうえ、詰まった木くずを取り除いてください。

粉碎室で詰まりが発生している状態



警告

- ブレーカーリセットボタンとオンボタンを同時に押したまま稼働させないでください。非常に危険です。
- 回転切替スイッチは稼働中には操作しないでください。
- 稼働中は絶対に投入口を覗かないでください。枝が飛散することがあり大変危険です。

粉碎室の掃除：「ブレーカーリセット再稼働のやり方」で復旧できない場合は回転刃が大量の枝や太い枝を噛み込んでいたり、粉碎室内部に木片や枝が詰まっていたりすることにより、逆回転しても刃がまったく動かない状態になっているケースがあります。

その場合は粉碎室を開け、中の木くずや枝を取り除いてから再稼働操作をおこなってください。

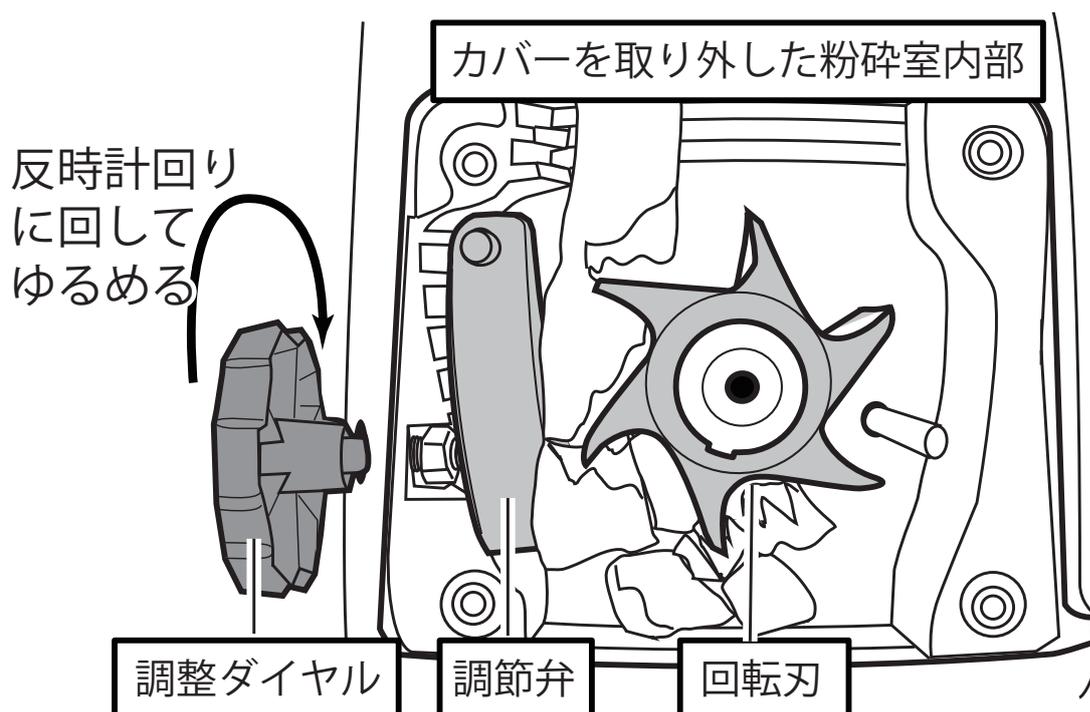
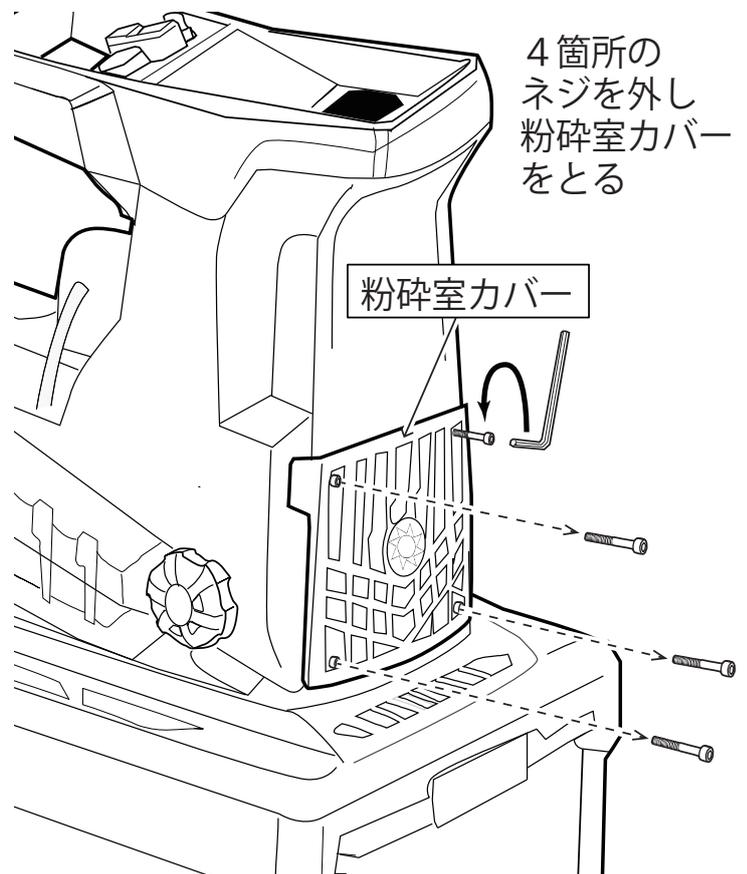
①電源プラグを抜きます。

②本体中央部の粉碎室カバーを止めている4箇所のボルトを付属の六角棒レンチですべて外します。

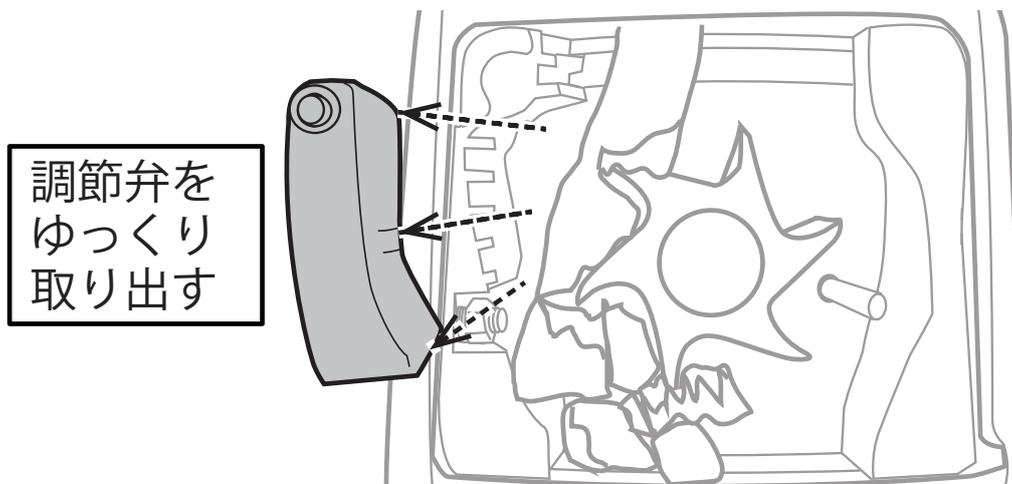
③粉碎室カバーを両手でゆっくり引き抜いてください。

④粉碎室側から見て左側（本体外側）にある調整ダイヤルを反時計回りにまわして調節弁と回転刃の隙間をゆるめてください。

⑤回転刃と調節弁の隙間に詰まった木を取り除きます。

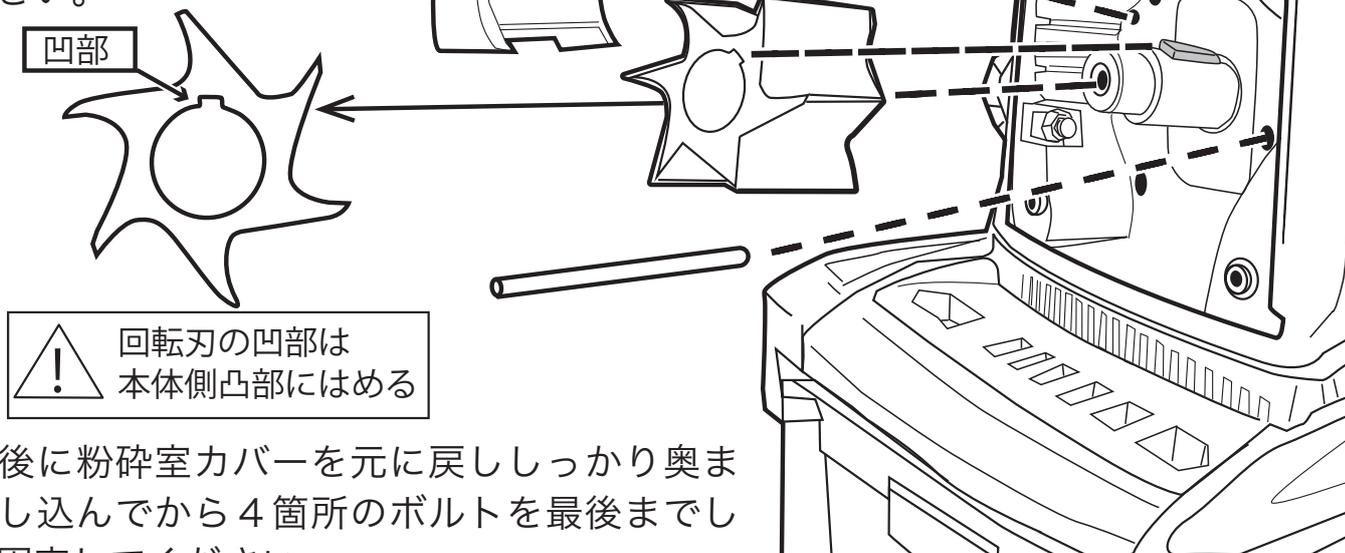


⑥刃が太い枝木を噛み込んで木くずを取ろうとしてもまったく動かない場合には、調節弁をゆっくり引き抜いてから、挟まった木くずを取り除いてください。



⑦木くずを全て取り追えたら、右図を参照のう
えパーツを元どおりに戻してください。

※回転刃は本体の回転軸に
はまるよう確実に取り付けて
ください。



⑧最後に粉碎室カバーを元に戻ししっかり奥ま
で差し込んでから4箇所のボルトを最後までし
めて固定してください。

警告

- 粉碎室カバーを開く際は必ず事前に電源プラグを抜いてからおこなってください。開室中は絶対に稼働させないでください。
- 粉碎室内部を掃除したり木くずを取り除く際は、必ずゴム手袋などを着用の上ゴーグルをして作業をおこなってください。怪我の原因となります。
- 木くずを取り除く際、回転刃とバーが落ちることがあります。不意に落とさぬよう注意して作業を行ってください。

お手入れと保管

本体のお手入れ：

- ・ 使用後は毎回必ずダストボックスと本体内部を清掃してください。
- ・ ダストボックスに入った木屑を捨ててください。
- ・ ダストボックスは水洗い可能です。洗浄後は水気を拭き取りよく乾燥させてください。
- ・ 本体についた汚れや木屑は乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- ・ ワックス、アルコール類、シンナー、ベンジンなどは故障の原因となりますので使用しないでください。
- ・ 放熱用の通気口は常にきれいにし、木くずや破片がないようにしてください。ナイロンカバーや布などで覆ったまま稼働させると故障の原因となります。
- ・ 泥・樹液などがひどい場合には、よく絞った布に中性洗剤をつけて水拭きし、最後に乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- ・ 本体内部や刃に付着した樹液・木屑は必ず取り除いてください。
- ・ 定期的に粉碎室内部の掃除を行ってください。

【点検】

- ・ すべてのナット、ボルト、およびネジをしっかりと締めて、装置が安全な作業状態にあることを確認してください。
- ・ 替刃は使用によって経年劣化していきます。粉碎能力が極度に低下したり刃に欠損がある場合は、ご使用をお止めください。
- ・ 磨耗した部品や破損した部品がないか使用前に点検してください。損傷した部品は交換してから使用してください。

【保管】

- ・ 長期保管する際には、ビニール袋などに密閉状態で保管しないでください。
- ・ 子供の手が届かないところ、または錠が掛られるところで保管してください。
- ・ 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かないでください。
- ・ 直射日光が当たったり、車内など高温になるところには置かないでください。
- ・ ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かないでください。
- ・ 付属品と取扱説明書が紛失しないように、袋などにまとめて保管してください。



警告

本品の水洗いは絶対にしないでください。故障や感電の原因となり、大変危険です。また、雨ざらしになる場所での使用や保管はおやめください。

【故障・修理】

修理はご自分でなさらず、不具合のある場合には直ちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または弊社にお申しつけください。

